

《校訓》 自主自律

《学校教育目標》「志を持ち、学び合い、高め合う」生徒

# 群 青

小山中学校だより  
第1号 H28. 4. 11

## 平成28年4月6日 入学式 学校長式辞

春日麗朗（しゅんじつれいろう）、五感を通して春の訪れを実感できる季節となりました。小山町副町長 田代 章 様を始め、多くの御来賓、保護者の皆様の御臨席を賜り、七十八名の新入生を迎え、平成二十八年度の入学式が挙行できますことを心より感謝申し上げます。新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。今日から皆さんも小山中学校の一員です。一緒に小山中学校のよき伝統を受け継いで行きましょう。



これまで、ほぼ同じ学習環境で十二年間を過ごしてきた皆さんは、これからの三年間をこの小山中学校で生活することになります。しかし、これまでと異なるのは、三年後に初めての分岐点、「進路選択」を迎えるということです。まだまだ分かれ道は見えませんが、中学校での毎日を充実したものにすることが大切です。将来の進路は日々の真剣な生活や学習の中から見えてくるものです。以前、県内の中学三年生が作った「私の人生 現品限り いままでたっても 今が旬！」という一文が話題となりました。自分の人生は「現品限り」つまり、一回限りで交換ができない常に完熟期であり、どのようなことも受け入れる準備は出来ていますよ、という意味なのでしょう。



これから中学校での挑戦が始まります。初めての挑戦、より高いレベルを目指す挑戦、様々ですが、皆さんの挑戦を家族の方々はきっと応援してくれるでしょう。わたしたち学校の教職員も全力で支援していきます。地域の皆さんも協力してくれます。しかし、実行するのは皆さん自身です。自分から進んで目標に挑戦してください。

本校の校訓は「自主自律」、学校教育目標に『「志を持ち、学び合い、高め合う」生徒』をかかげました。一般の社会に限らず、学校教育も、「確かな学力の育成」「規範意識の醸成」「自然体験の促進」「子どもの体力低下」「食生活の乱れ」など多くの課題に直面しています。大切なのは、課題に自ら挑戦・解決し、「生きる力」を身につけることです。変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな人間性、健康・体力のバランスをしっかりと身につけてください。冒頭、申し上げた通り、春爛漫の季節です。ぜひ桜の花が開くこの時期に中学校生活の抱負を持ちましょう。

結びになりましたが、保護者の皆様方、小山中学校区の皆様方、大切なお子様を三年間、お預かりします。「生きる力」をしっかりと身につけ、長い歴史と文化の息づく小山町の将来の担い手となり、雄大な富士山のふもとで活躍できるような子どもたちに育てていきたいと思っております。皆様方の御理解と御協力をお願いするとともに、職員一同、精一杯努力することをお約束して式辞といたします。（※一部要約をしています）

小山町立小山中学校長 鈴木 宰

# 新入生 誓いの言葉

暖かな春の風に舞う桜の花びらとともにわたしたち七十八名は、今日この小山中学校の門をくぐりました。三月十八日、六年間通った小学校を卒業し、今日からは中学生になります。今までとは違った新しい生活に対する、緊張と不安があります。でも、これから始まる学校生活への期待で胸がいっぱいです。



中学校は、いろいろな面で小学校とは違います。学習の面では、教えていただく先生が教科ごとによりますし、授業時間も五分延び、英語も始まります。きっと宿題の量も増えると思います。内容も難しくなりますが、毎日コツコツと頑張りたいと思います。

中学校では、部活動がとても楽しみです。小学校の運動会の組体操では、苦しくてつらかったのですが、練習から一生懸命取り組むことで、大きな達成感を味わうとともに、自分が成長できたことを強く感じました。中学校では、自分の心と体をきたえ、さらに成長していきたいと思っているので、部活動も三年間全力で取り組みます。



これから先、困難の壁にぶつかり、時には悩み、立ち止まってしまう時もあると思います。そんな時は、先生方、先輩方、どうか力を貸してください。どうか温かい目で見守ってください。もちろん、わたしたちも大切な仲間のため、互いに助け合っていくつもりです。そして、よき仲間として理解し合い、お互いに思いやりを持った生活を送れるようにしていきたいと思います。

最後に、わたしたち新入生は、小山中生としての誇りを胸に、どんなことにも全力で取り組み、思いやりの心を持って学校生活を送ることを誓って、入学の言葉といたします。

新入生代表 湯山 水彩

# 生徒代表 歓迎の言葉

春爛漫。色とりどりの花が咲きほころび、皆さんの晴れの日をお祝いしているようです。新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。



今、皆さんの心の中は、新しく始まる中学校生活への期待と不安が入り混じっているのではないのでしょうか。二年前の私もそうでした。でも、隣で肩を並べている新しい仲間も皆さんと同じ心境です。月日が経てば、不安は薄れていきます。ですから、安心して、明るい気持ちを持って中学校での生活を楽しんで下さい。

さて、皆さんを小山中の新しい仲間としてお迎えするに当たり、私から中学校と小学校はどのように違うのかを話したいと思います。中学校と小学校では大きく分けて三つの違いが挙げられると思います。

一つ目は、「勉強」についてです。中学校では、教科担任制となり、たくさんの先生方の授業が受けられます。その分、一つ一つの教科の学習がより専門的になって、楽しい反面、難しくもなります。だからこそ、予習や復習といった自分自身で行う勉強が必要になります。一年間に六回の大きなテストもあるので、家庭で勉強をする習慣を付けることが大切だと思います。

二つ目は「部活動」です。夏の中体連やコンクールなど一つの目標に向かって、学年の壁を越え、仲間と励まし合いながら努力する、これが部活動だと思います。楽しいこともある反面、やはり苦しい事、大変な事もたくさんあります。でも、それを仲間と乗り越えられたとき、チーム、そして人として強くなれるのだと思います。部活動は沢山の経験ができ、成長できる場所でもあります。皆さんで部活動を盛り上げていきましょう。

三つ目として、「生徒会活動」が挙げられます。小学校にも児童会がりましたが、中学校の生徒会ではより生徒が中心になって、活動を企画したり、体育大会や群青祭といった大きな行事を創り上げたりしていきます。

また、小山中には四つの「誇り」と呼ばれるものがあります。それは「挨拶」「合唱」「部活動」「清掃」です。これはこの四つのことに誇りを持って、小山中をよくしていこうという



歴代の先輩たちの思いから始まり、今に受け継がれているものです。生徒会では、この四つに目を向けて、誇りを持てる小山中にするための活動を企画し、取り組んでいます。「勉強」「部活動」「生徒会活動」この三つに共通しているのは、私たち生徒が中心になって、自分たちで考え、自分たちの手で取り組むということです。どれも、自分たちの頑張り次第で結果がついてきます。

中学校は大変だと感じるかも知れませんが、でもそれは、色々なことが私たち自身に任せられているからでもあります。自分の頑張り次第で自分の想いや願いを実現することができるのです。これは、私たちの可能性を広げる素晴らしいことだと思います。

新入生の皆さん、私たちは皆さんが早く中学校での生活に慣れることを応援しています。そして、私たちと共に、自分たちの手で「誇り」を持てる良き小山中学校を創っていきましょう。

生徒代表 大屋 里沙

4月11日（月）には、生徒会行事「新入生歓迎会」を開催しました。上級生からの温かい励ましの言葉や、部活動の紹介（パフォーマンス）で、和やかな雰囲気の中、一年生も一步一步着実に中学生の階段を登っています。



## 小山町では『学力向上テスト』を実施します

小山町では、児童・生徒に確かな学力を身に付けるため、小学校5年生と中学2年生を対象とした『学力向上テスト』を実施します。実施日は、全国学力・学習状況調査が実施される4月19日です。この『学力向上テスト』の実施目的は、児童・生徒一人一人の学習状況を把握し個別の指導に生かすとともに、教員も授業内容の改善を図るようにすることです。

また、このテストには意識調査も含まれます。子ども自身が、自分の生活や学習習慣を見直しながら、今まで以上に学習に意欲的に臨める意識づけを図ることもねらいの一つです。諸経費は、全て小山町の『夢チャレンジ事業費』から負担されます。小山町の子どもたち学力向上に向けたプロジェクトへの保護者の皆様の御理解と御協力をお願いいたします。

## 自然災害等による警報がでた時の対応について

- 午前6時30分の時点で、小山町に「特別警報」「暴風警報」「暴風雪警報」「大雪警報」のどれかがでている場合 ⇒ **自宅待機**（自宅を安全を確保する）
  - ①午前10時まで上記の警報が継続している場 ⇒ **臨時休校**
  - ②午前10時までに上記の警報が解除された場合 ⇒ **午後から登校**※ただし、②の場合でも「大雨警報」「洪水警報」のいずれかが継続している場合は ⇒ **臨時休校**
- 午前6時30分の時点で「暴風警報」「暴風雪警報」「大雪警報」ともなわなない「大雨警報」「洪水警報」のいずれかの警報が小山町に発令されている場合 ⇒ **保護者が安全判断で登校**（安全が確保できない場合は自宅待機）  
※ただし、台風の進路予想等によって天候の悪化が予想される場合 ⇒ **自宅待機・臨時休校**（その場合、学校からメール配信等で連絡します）
- 予想外のゲリラ豪雨や大雪などにより、警報が間に合わない場合、小山中では、生徒の安全を第一に考えて、メール配信等でお知らせし、臨機応変に対応します。

## メール配信システムについて

『メール配信システムによる緊急連絡網の登録』は4月13日(水)までをお願いします。15日(金)にテストメールを配信します。

4月6日に配付したプリントに、登録の確認を記入し、学級担任まで提出して下さい。未登録の家庭には、緊急時、電話等で連絡します。